

二〇二二年度B方式入学試験問題 一 時限目 国 語

二月五日

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
- 二、監督者の指示に従い、別紙解答用紙の所定欄に氏名、受験番号を記入すること。さらに受験番号の下のマーク欄に受験番号をマークすること。
- 三、解答はすべて、解答用紙の解答欄にマークすること。
- 四、試験時間は六十分、問題は16ページ。

マーク記入上の注意

- (1) 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆でつぎの正しい例のように濃く正確にぬりつぶすこと。解答は、該当の解答番号の解答欄にマークすること。例えば、解答番号 **10** の問に対して、
- (2) と解答する場合は

10	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

のようにマークすること。

悪い例

5	4	3	2	1
①	①	①	①	①
●	①	②	②	②
●	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

- 印でかこむ。
- 中身をぬりつぶしていない。
- レ印をつける。
- 一印をつける。
- 一欄に二つ以上マークする。

このような記入をしてはいけない。

- (3) 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。
- (4) 解答用紙を折りまげたり、破ったり、また汚したりしないこと。

1	①	●	④	⑤
⑨	⑩			

のように×印をしても消したことになる。

第一問 左は、上田紀行『かけがえのない人間』の一節である（ただし、一部改変した）。これを読んで次の問いに答えよ。

怒りの声をあげる、コウ議^⑦することは、かけがえのない私はもつと人間らしく扱われて当然だ、今受けている扱いは到底それにふさわしい扱いではない、そんなことはあり得ないんだ、と考えることから始まります。怒りの声があがらない、そこでブレーキがかかってしまうのは、自己信頼、自己評価が最初から低いからではないでしょうか。

若い人たちの多くは、私はどうせ他の人と交換可能で、かけがえがないとは思えないような存在なのだから、このような扱いを受けても当然なんだ、というふうに思ってしまうように見えます。だからこの状況に関しても暴動も起きないし、大きな怒りの声も上がってこないのです。

若い人たちと話したことがあります。不況の時代に就職時期を迎えたという、自分の責任ではない事情でこれだけの格差がついたり、人生セツ計^①もできないような状況になっているのに、そしてそれに対して改善がもたらされないのに、どうして怒りの声起きないのか。彼らの回答は、「でも同世代で成功している人もいるわけだから、今の境遇は自分の責任だと思ってしまう」というものでした。しかしそれはまさに「自己責任」ということばのまやか^Aしにはまりきっています。

もう一つのまやかしがあります。それは「心理主義」のまやかしです。心理主義というのはどういことかというところ、全てを心理学的に考えていく、ということなのです。そしてこの十数年というもの、日本人の「心理主義化」が進んでいます。

イ

その心理主義化については、私も責任を感じないではありません。私はずっと「癒^いしの上田さん」として知られてきました。今これだけたくさん聞くようになった「癒し」という言葉は実は造語で、日本語には「癒す」という動詞はあっても「癒し」という名詞はなかったのです。それを一九八〇年代の終わりに、「癒し」という言葉を強く押し出し、これからの日本には「癒し」が必要だと言いだめたのが私でした。

〔中略〕

私が癒しの重要性を言い始めたとき、それは確かにひとつには、「これからはモノではなくて、心の時代だ。自分を癒すことを考えよう」という、もっと自分の心の満足に注目しようよという提言でした。しかもう一つ、それは「ほんとうに一人ひとりが癒されるような社会を作っていこう」という、社会的運動への提言でもあったのです。社会自体が私たちを癒さない構造を持っているならば、私たちはどうして自分だけが癒されることができるとでしょうか。

しかし、癒しブームの中で実際に起こったことは、癒しの a でした。例えばあなたが会社でストレスばかりで、自分の生きていく意味も分からず、到底癒されない状態[㊦]だったとしましょう。それであなたは自分には「癒し」が必要だと切実に思うわけですが、それでどうするかといえば、家に帰ってお風呂にバスソルトを入れてリラックス、部屋にはアロマを満たし、聴く音楽はヒーリングミュージック。癒しキャラのぬいぐるみやキャラクターをリビングやベッドの周りに置いて、自分を癒してくれるような癒しの絵本や癒し小説を読む……。で、「癒された」となって、次の日会社に行くと、しかし会社の状況はまったく変わっていないので、またものすごいストレス。それで家に帰って、「癒されなくては」と思って、ヒーリングミュージック聴いて、アロマを使って……。これを一生の間、毎日繰り返していたら、癒しどころかビョーキですよ。

私もそういった「小さな癒し」は嫌いではありません。温泉も好きだし、アロマも好きです。しかし、そうした個人的な癒しで全てが解決するとは到底思えません。会社がストレス源ならば、会社の仕組みを変えなければならぬ。学校でいじめられているのなら、そのいじめを解決しなければいけない。当然、社会的な解決が同時に図られなければいけないのです。

にもかかわらず、すべてを「心の癒し」の問題だとして、個人個人が心を癒せばいいのだということにしてしまえば、それはむしろ本来の癒し^Bから私たちを遠ざける行為になります。私たちの心に集中すればするほど、社会的な癒しへの意識と行動がおろそかになり、社会はますます厳しいものになり、私たちはますます自分の殻に閉じこもって、その小さな空間で自分を癒すことに一所懸命になります。それは悪循環であって、状況はますます悪化してしまいます。

自分が「癒された」という感覚を持つことはとても大切なことです。あゝ、こういうのびのびとした感覚って大切だとか、あったかさや安心感っていいとか、こういう時のために生きているんだとか、それはとても幸福な感覚だと思えます。しか

ウ

し、その幸せを実感し、元氣になったなら、次には社会全体を少しでも幸せな方向に変えていこうと、エネルギーを社会へと振り向けていくことが必要なのです。

C 「心理主義化」にはそのような畏^{わな}が隠されているのです。いま若者に起こっていることも心理の問題ではありません。かけがえのなさが失われた、自己信頼が失われたという表現をしているので、一見心理学のことを言っているように見えますが、決してそれだけではありません。ここまで格差が生まれ、ワーキングプアの問題が生まれているのは、この不況の十年間そういう経済政策をとった、そういう政治が行われ続けてきた、そうした弱肉強食の経済体制に組み込まれたということなのですから、問題は全体のシステム、枠組みなのです。

その枠組みを変えろ、構造を変えろ、と言わなければいけないのです。

b それを心理的に引き取ってしまい、そういうことになったのは私の心がおかしいからだ、そういう状況に対して私が心の持ちようを変えることでどうにかならんじゃないか、と思ってしまうのは、むしろ問題を見えなくする可能性のほうが大きいのです。

心理主義の問題点を述べてきましたが、それに加えて、その心理主義も、昔の心理主義と中身が異なってきたということにも注目しなければなりません。

一時代前の心理主義では、「私探し」ということがよく言われていました。私には「本当の私」というものがあるはずだ。けれども私は「本当の私」からかけ離れた「偽りの私」を生きてしまっている。だから「本当の私」を探して、自分自身を回復しよう、といったような心理主義です。

E

私は一九九二年に亡くなった、歌手の尾崎豊の生き方について書いたことがあります。尾崎豊の出発点は、今は偽りの私を生きているという、現在の自己への疑問です。汚れのなき本当の自分というのがあるはずなのに、こんなに自分は汚れてしまっていて、その中でもがき苦しんでいる、でもみんな、「本当の私」はあるんだよ、「偽りの私」ではない本当の私を探しに行こうよ！という調子で、それがその頃の若者世代には非常に受けたのです。それはまさに「本当の私」探しの歌でした。「私探し

ブーム」とは「本当の私」を探す、というブームだったのです。

ところが今の若い人たちに聞くと、その頃の心理主義^Dと今の心理主義は違うと言います。今の心理主義、心理学の使われ方というのは、周りの人たちといかによくやってくかかテーマだということです。どういう場であれ、そこに自分が投げ込まれた時に、周りの人を傷つけたり周りの人に傷つけられたりしないで、自分にいちばんいい評価がもらえるように、いかにその場やグループに適合した行動を採ればいいか、いかに摩擦がなく周りの人とやってくかという、心理マネージメントの心理主義である、と言うのです。

ここでは「本当の私」とは何かなどということは問われなくなってしまう。そもそも、ただひとつの「本当の私」などがあるということ信じるとするのは時代遅れだということです。この場ではこういう私、あの場ではこういう私、という複数の私をいかにその場に合わせて上手に使分けしていくかが大切なのです。

どんな場に投げ込まれても、そこでいちばんいい立ち居振る舞いはどうなのか、口のきき方は何なのかということを考えていく。ということは、その場がどんなにゆがんでいようが、全体の構造がどんなにおかしいものであろうが、そのことは問われないうことになります。その中で自分が摩擦を起こさずやってく、ということが大切な心理主義なのです。自分を突き詰めていく心理学よりも、いかに摩擦なく過ごしていくかという、コミュニケーション技術のような心理学だと言えます。

自分の根っこを掘っていくというよりも、いかにソーシャルネットワークの中で嫌われずに生きていくか、それが重要なのです。

ここでは「空気を読む」ということが重要になっています。いかにその場の空気を読んでみんなから嫌われず、調和を保っていけるかということが重要なのです。なので、成立しているその「場」自体の矛盾であるとか、その場自体がかかえている深い問題とかには立ち入りません。

周囲の人たちといかによくやるか、「本当の私」なんかを追求するのではなく、会社という「場」でうまくやっている私、仕事から帰ってプライベートな場で恋人に嫌われずにうまくやれる違う私、というふうには、複数の私を使い分けていけばいい、

という考え方です。

もちろん尾崎豊のように「本当の私」にだけこだわり続けてしまえば、それはとても苦しいことになってしまいます。どの場でも同じ「私」を押し出す人がいたとしたら、それはそれでけっこううっとうしい人かもしれません。スーパースターとかアーティストとか芸術家とか作家とか、強烈な個性を持っている人はそれをやり通せるかもしれませんが。

誰だっていくつかの顔を使い分けたいという人はあります。しかし、実際はその場その場に合わせてはいても、その中でも「本当の私」はどこにあるのか、「本当の私」が言いすぎならば、自分自身にいちばんフィットしている私、いちばん信じられる私はどこにあるのかを考えることはとても大切なことです。

どの場でも周囲の人に合わせていく私、そういう自分に私たちは「c」を持つことができるでしょうか？空気を読みながら、周囲の人に嫌われないことだけを考えている私の「c」の核はどこにあるのでしょうか。

いろいろな場で顔を使い分けていても、自分の中でcができる、核になる私があるというのと、単に周りに合わせて流されるというのとは、まったく違います。その核の部分がなくて、どこに行っても、そこでうまくやればそれでいいんだといった形になっている、そのことが大きな問題なのです。

例えばファストフードの店でアルバイトとして朝から晩まで調理をしている若者がいるとします。そこは狭い調理場で、次々に注文が入ってくるので、それに応じて次から次へとハンバーガーを焼いたりフライドポテトを揚げたりするのが仕事です。狭い厨房の中には店長がいて主任がいて、自分の他にもたくさんさんの若者もいて店が回っているという場の中で要求されるのは、いかに空気を読みながら一日どうにかやりおわせていくかということであるのは間違いありません。

しかし、そうやって働きながらも、いったい私は正当な給料をもらっているのかとか、「私」というものがどのような社会的な構造の中にあるのかとか、社会的に抑圧されているのではないかと、世界の中で私のこの職場というのはいったいどういう場所として位置しているのだろう、というように発想は常に持つべきものでしょう。

狭い調理場の中でも、その閉じた場を超えて、世界の構造や本質を大雑把ではあるがつかもうとしていけば、人生も変わって

きます。オレはこれじゃ終わらないぞとか、僕の自己表現とはいったい何だろうと考えながら生きていくとか、自分はどこに向かっているのだろうかと考えていく。そのことから、未来も切りひらかれていくのです。

ところがその場においても「空気読め」ばかりを考え、日々そこで摩擦なく過こすことばかり目指す、という発想の中からは、ひたすらそこに留まとどまりてうまくく調ていしていく自分以上のものが見えてこないのです。世界の構図を見れば、昔の言い方をすれば、私の行っている労働はソソ外外された労働ではないのだろうかとか、搾取せつしゆされているのではないだろうかとかといった見方が出てくることもあるかもしれませんが、「空気読め」という心理主義からはそんなことは出てくるはずありません。

一方では原資をうまく回して巨額の富を得て、六本木ヒルズに住んでいる奴がいる。もう一方のオレはなんで時給一〇〇〇円足らずで働かされ、将来の展望も見えないし、年金を払えって言われたってどうやって払っていいかもわからない、いつまでこんなことやってなきゃいけないんだ、正規雇用に入っていけないじゃん、というのは、まさに絵に描いたような搾取構造だといえます。

となれば、そのひどい状況に対しては何らかの異議申し立てをしていかなければいけない。そうしないと、その構造はずっと続いていくことになり、私の人生のリスクはますます増大していくのです。

「^Fかけがえのない私」がどうしてこんな状況に陥っているのか、ということの原因を突き止めなければなりません。そして、自分のせいではないのに不当な扱いを受けているということになったら、是正せよ、と怒って誰にでもわかるように意思表示をしなければなりません。

問1 次の一文が入る最も適切な箇所を、空欄アからオの中から選べ。

1

すべてを自分の「心の問題」だと捉えていく傾向が強まっているのです。

① ア

② イ

③ ウ

④ エ

⑤ オ

問2 傍線部Aの意味として、最も適切なものを次から選べ。

2

① まぎらわしてごまかすこと

② 都合のよいことを大げさに伝えること

③ 本当でないことを伝えること

④ 不利にならないよう取り繕うこと

⑤ 別のものに置き換えること

問3 空欄aに入る語として、最も適切なものを次から選べ。

3

① 日常化

② 社会化

③ 普遍化

④ 個人化

⑤ 蔓延化

問4 傍線部Bの意味として、最も適切なものを次から選べ。

4

① 次の日も元気になるよう毎日、ストレス解消を繰り返すこと

② ストレス源である会社の仕組みを変えること

③ 個人のストレス解消と社会的解決がともに図られること

④ 心の問題として個人の心が癒されること

⑤ 自分の殻に閉じこもって小さな空間で自分を癒すこと

問5 傍線部Cで筆者が述べている、隠されている「心理主義化の罨」に陥っている状態の説明として、最も適切なものを次か

ら選べ。

5

① 自己信頼感が失われること

② 弱肉強食の経済体制に組み込まれること

③ 社会全体のシステムを変えろと声を上げなくなること

④ 昔と今とでは、心理主義の中身が異なってきたこと

⑤ 問題を心の持ちようではどうにかできると考えるようになること

問6 空欄bに入る語として、最も適切なものを次から選べ。

6

① ところが

② しかも

③ また

④ さらに

⑤ むしろ

問7 傍線部Dの内容に関する説明として、適切でないものを次から選べ。

7

① 現在の自己への疑問があった

② 複数の私を使い分けられるコミュニケーション技術という意味があった

③ 自分を突き詰め、自分の根っこを掘っていくという面があった

④ 「偽りの私」ではない本当の私を探しに行くという意味があった

⑤ どの場でも同じ「私」でいたいと思っていた

問8 空欄cに入る語として、最も適切なものを次から選べ。

8

① 自己決定

② 自己実現

③ 自己意識

④ 自己信頼

⑤ 自己責任

問9 傍線部Eの「発想」の根本にあるものとして、最も適切なものを次から選べ。

9

- ① 職場から要求されているものは何かと考えること
- ② 社会的に抑圧されているのではないかと考えること
- ③ 世界の構造や本質を大雑把でもつかもうと考えること
- ④ 「空気を読む」ことの意義は何かと考えること
- ⑤ 自分は「かけがえのない私」であるかと考えること

問10 傍線部Fの意味として、最も適切なものを次から選べ。

10

- ① 「癒し」によって幸福を実感し、元気でいられる私
- ② 場の空気を読んでうまくやれている私
- ③ 他の人の代わりができる能力がある私
- ④ 主体的な存在として自己責任が取れる私
- ⑤ ひとりの人間として自らを尊重できる私

問11 文中の二重傍線⑦から⑩のカタカナ部分と同じ漢字を用いるものを、次から選べ。

11

ア コウ議

① 記録をコウ新する

② コウ文書の保存

③ 熟コウする

④ 契約不履コウ

⑤ 抵コウ勢力

12

イ セツ計

① セツ得に応じる

② セツ衷案

③ セツ客の仕事

④ 不自然なセツ定

⑤ セツ速を避ける

13

ウ 状タイ

① 形タイ模写

② 身タイ検査

③ タイ案を練る

④ タイ熱処理

⑤ タイ屈を紛らわす

14

エ 調テイ

① テイ学処分

② テイ裁を整える

③ 法テイで争う

④ 師テイ関係

⑤ 探テイ小説

15

オ ソ外

① ソ止する

② 空ソな議論

③ 構成要ソ

④ ソ野な言動

⑤ 適切なソ置

第二問 左は、平安時代中期の歌物語『大和物語』百二十六段「水汲む女」である。これを読んで次の問いに答えよ。

筑紫つくしにありける檜垣ひがきの御ごといひけるは、いとらう注2あり、をかしくて世を経たる者になむありける。年月注1かくてありわたりけるを、純友すみともがさわぎ注3にあひて、家も焼けほるび、物の具もみなとられはてて、いみじう注4なりにけり。

かかりとも知らで、野大弐やだいに、討手うちての使つかひに下りたまひて、それが家のありしわたりをたづねて、「檜垣の御といひけむ人に、いかであはむ。いづくにかすむ」ア「とのたまへば、「このわたりになむすみはべり」イなど、ともなる人

もいひけり。「あはれ、かかるさわぎに、いかになりにけむ。たづねてしかな注5」とのたまひけるほどに、かしら白きおうなの、水くめるなむ、前注6より、あやしきやうなる家に入りける。ある人ありて、「これなむ檜垣の御」といひけり。いみじうあはれがりたまひて、よばすれど、恥ぢて来で、かくなむいへりける。

むばたまのわが黒髪は白川のみづはくむまでなりにけるかな注7
とよみたりければ、あはれがりて、着たりける相あしめひとかさねぬぎてなむやりける。

〔注〕 1 檜垣の御——伝未詳の遊女。平安時代の遊女は、高い知識と教養を身につけた風流人であった。

2 らう——「勞」の字を当てる。年功により、心が行き届いていることを指す。

3 純友がさわぎ——九三九年、瀬戸内海を中心に藤原純友が起こした反乱。純友の乱。

4 野大弐——小野好古。平安中期の武将・歌人。大宰府の大弐（次官）として純友の乱の鎮圧にあたった。

5 たづねてしかな——訪ねてみたいものだ、の意味。

6 前より——前を通り過ぎて、の意味。

7 みづはくむ——「水は汲む」と「瑞齒ぐむ」の掛詞。「瑞齒」とは、老人になってから再び生えた歯のこと。長

寿のしるしとして、めでたいこととされた。そこから転じて、「瑞齒ぐむ」は、年を取るの意に使われる。

8 裃——表着と肌着との間にこめて着る衣服。

問1 傍線部Aはどのような意味か。最も適切なものを次から選べ。

16

- ① ゆたかな経験を積み、風雅な生活をして過ごしてきた
- ② 世の中の人に笑われながら、各地を渡り歩いてきた
- ③ この世に疑問を持ちつつも、何もせずに暮らしてきた
- ④ 多少の苦勞はしたが、面白い人生を歩んできた
- ⑤ 人々に後ろ指を指され、苦勞に苦勞を重ねてきた

問2 傍線部Bはどのような意味か。最も適切なものを次から選べ。

17

- ① たいそう素晴らしく
- ② ひどくみじめに
- ③ 昔よりもいじらしく
- ④ 多少みすぼらしく
- ⑤ どんどん綺麗きれいに

問3 傍線部Cは誰を指すか。最も適切なものを次から選べ。

18

- ① 野大貳
- ② 純友
- ③ 討手
- ④ 檜垣の御
- ⑤ 野大貳のお供の者

問4 空欄アに入る語として、最も適切なものを次から選べ。

19

① らめ

② ばかり

③ らむ

④ なれ

⑤ べし

問5 空欄イに入る語として、最も適切なものを次から選べ。

20

① き

② し

③ べし

④ しか

⑤ べけれ

問6 傍線部Dの訳として、最も適切なものを次から選べ。

21

① 神秘的な雰囲気の家

② なまめかしい感じの家

③ 分不相応な感じの家

④ 風流な趣のある家

⑤ みすぼらしい様子の家

問7 傍線部E、Fの主格はそれぞれ誰か。その組み合わせとして、最も適切なものを次から選べ。

22

- ① E 檜垣の御 F 野大弐
- ② E 野大弐 F ともなる人
- ③ E ある人 F 檜垣の御
- ④ E 野大弐 F 檜垣の御
- ⑤ E ある人 F 野大弐

問8 傍線部Gの品詞分解として、最も適切なものを次から選べ。

23

- ① 八行四段活用の動詞「いふ」の已然形+完了の助動詞「り」の連用形
- ② 八行下二段活用の動詞「いふ」の未然形+尊敬の助動詞「る」の連用形
- ③ 八行四段活用の動詞「いふ」の已然形+完了の助動詞「り」の終止形
- ④ 八行下二段活用の動詞「いふ」の連用形+自発の助動詞「る」の未然形
- ⑤ 八行四段活用の動詞「いふ」の命令形+完了の助動詞「り」の終止形

問9 傍線部Hの和歌には、「みづはくむ」の他にもう一つの掛詞が使われている。すべての掛詞を踏まえた和歌の解釈として、最も適切なものを次から選べ。

24

- ① 年老いてもなお私は黒髪のまま、白川の水を汲むほどに元気がございますことよ
- ② 私の黒髪は、白川の水を汲んでいるうちにいつか白髪になってしまうのでしょうか
- ③ 私が白髪になったことで、白川の水までもが白く濁ってしまったではありませんか
- ④ 私の黒髪は一体いつの間に、この白川の水のように白くなってしまったのでしょうか
- ⑤ 黒かった髪は年を取って白くなり、白川の水を汲むまでに落ちぶれてしまったことよ

問10 傍線部Iはどのような意味か。最も適切なものを次から選べ。

25

- ① 檜垣の御をしみじみ気の毒に思つて
- ② 檜垣の御を大層気に入つて
- ③ 野大弑に趣を感じて
- ④ 野大弑をあさましく思つて
- ⑤ 檜垣の御をうらやましく思つて